

夏はボボーンと盆踊り！

玉川の夏といえば納涼盆踊り大会！今年もあります！やります！踊っていただきます！どの会場も古いも若きも、男性も女性も、もちろん小さなお子さんも大歓迎！地元商店会、町会、法人会、PTA 等が中心になって運営する屋台も出ます、食べさせます、飲ませます、遊ばせま〜す！皆さんぜひぜひお誘い合わせの上、さあレッツ盆！盆！でも、「盆踊り」ってお盆の時期に行うから「盆踊り」っていいことではないの？実はそのとおり、いいんです。「盆踊り」の名前の由来は、年に一度この世に戻ってくる精霊を迎え、また送るための風習である「盂蘭盆会（うらぼんえ）」の時期に踊るから「盆踊り」というのです。そのルーツは意外と古いようです。「盆踊り」のルーツは、一説には鎌倉時代中期に一遍が広めた「踊り念仏」といわれています。それが次第に宗教色が薄れ、踊りそのものにウェイトが置かれるようになり、戦国時代には、そのものズバリ！お盆の時期に踊る「盆踊り」として登場。江戸時代中期には「盆踊り」の名称も定着。明治初期や戦時中は「盆踊り」も中止させられていましたが戦後に復活、各地で大ブレイクしました。さあ今年も暑い夏を盆踊りで吹き飛ばしましょう！



< 瀬田 >

毎年美味しい屋台や楽しい催しが盛りだくさんの瀬田盆踊り大会に参加して暑気払いしましょう！



7月25日(土)・26日(日)

於：瀬田小学校校庭

時間：午後6時～9時

< 二子玉川 >



美味しい屋台
楽しい催しが
待ってます！

7月24日(金)・25日(土)

於：国道246 高架下ふれあい広場

時間：午後7時～午後9時

* てくたく刀サッチ#26「笈付庚申塔」瀬田 4-11*

慈眼寺の参道入口の脇にひっそりと佇んでいます。庚申の信仰は、中国の道教の説で、人の体内にいる三尸の虫が、干支の庚申の夜、睡眠中の人体から抜け出し天に昇り、その人の罪科を天帝に告げるため、罪惡の多い人はその分だけ生命を縮められるというのです。平安時代頃から三尸が体から抜け出さないようにするためには庚申の夜は徹夜で過ごす習慣が始まり、健康長寿を祈念する信仰となりました。この庚申塔は「見ざる」「言わざる」「聞かざる」という謹慎態度を示す三猿の上に、三つ目・腕六本の青面金剛が刻まれている典型的な江戸中期のもので、元禄10年(1697)2月20日造と刻まれています。



< 用 賀 > 『用賀に夏が来た! サマーステージ27』

7月22日(水)・23日(木) 17時～21時 於:くすのき公園



用賀はサマーステージと題して盆踊りのほかに、ステージ上で様々なグループが歌や踊りやダンスを披露する予定。地元町会を中心とした屋台や模擬店は例年大盛況! 今年はどうな屋台が出店するのか? 今から楽しみです! 是非お越しください!

今年もあいます! 世田谷区たまがわ花火大会

今年のテーマは『輝き ～未来へはばたけ世田谷の力～』

8月22日(土) 午後7時～8時

今年の「世田谷区たまがわ花火大会」は、『輝き ～未来へはばたけ世田谷の力～』をテーマとして花火大会を演出します。世田谷区の力強く希望に満ちた絆の「輝き」は、明るい新しい未来を築き上げる、若者たちを羽ばたかせる光となります。いつまでも輝き続ける世田谷の力を空高く彩り華やかに表現し、大地から湧き響く振動を全身で感じられるダイナミックな花火を打ち上げます。17時45分からステージイベントもあります!

第74回川崎市制記念多摩川花火大会

8月22日(土) 午後7時～8時

【会場】川崎市高津区諏訪・多摩川河川敷
(第三京浜道路・国道246号<二子橋>間の河川敷)

18:00～19:00 ステージイベント(川崎会場のみ)

19:00～20:00 打上



ご自宅まで配達します! 2015年
アサッチのオススメ本! 7月

「私の履歴書」

昭和の先達に学ぶ生き方

著者:石田 修大 朝日新聞出版刊 定価:842円(税込)

◆主な内容◆

日本経済新聞の朝刊文化面に掲載している「私の履歴書」。すでに連載半世紀を超え、登場人物は700人以上を数える名物企画である。本書では、その中から、本田宗一郎、稲尾和久、田中絹代、棟方志功、田中角栄など、昭和の時代に活躍した人物を選び、彼らが波乱万丈の人生をどう生きたのかを紹介する。



それ行け!! アサッチ

